

7 月 定例記者懇談会次第

と き：令和 8 年 7 月 1 3 日（月）

1 3 時 0 0 分～

ところ：丹波篠山市役所本庁舎 3 階 3 0 1 会議室

1. 開 会

2. あ い さ つ

3. 発 表 内 容

- ① 黒豆スイーツフェアの開催について（一般社団法人丹波篠山市観光協会）
- ② ひんやりグルメ企画（仮）の実施について（一般社団法人丹波篠山市観光協会）
- ③ 「第 3 回桶ッ卓球世界大会」の開催について（中央公民館）
- ④ 田園交響ホール・ステージオペレータークラブが第 26 回「特ラ機構 技術賞」で最優秀「八幡賞」を受賞（田園交響ホール）

4. 閉 会

記者発表票

丹波篠山黒豆スイーツフェア開催について



丹波篠山ブランド産品戦略会議（丹波篠山市、兵庫県、丹波ささやま農業協同組合で構成）は、丹波篠山黒大豆の「おせち」や「黒枝豆」以外の魅力を広く知っていただくとともに、日本農業遺産システムの認知度向上を図ることを目的として「丹波篠山黒豆スイーツフェア」を開催します。

本フェアでは、丹波篠山市産の黒大豆を用いた多彩なパンやスイーツを通じて、地域ブランドとしての黒大豆の魅力を市内外に広く発信し、四季を通じた観光誘客につなげてまいります。また、近年の猛暑を受け、今年は暑い日にぴったりの“甘冷（あまびえ）スイーツ”を掲載します。

開催期間：2026 年 7 月 1 日（水）～2027 年 3 月 10 日（水）

29 店舗、38 商品を掲載（通常商品 29 品、甘冷商品 9 品）

パンフレット A5 判見開き 3 ページ、15,000 部作成。

インスタグラム公式アカウント @love_kuromame

パンフレットはフェア参加店、市役所各支所などで配布しています。

<企画・運営・お問い合わせ> 一般社団法人 丹波篠山市観光協会
兵庫県丹波篠山市北新町 97 TEL：079-506-1535

記者発表票

あなたはどっち派!?丹波篠山夏の食バトル! 冷たいご褒美 VS 夏の元気グルメについて

近年、夏の暑さは年々厳しさを増しており、全国的にも猛暑日が続く傾向にあります。昨年の7月30日には丹波地域で41.2℃を記録し、数日間とはいえ「日本一暑い地域」として報道されるなど、夏の暑さは大きな課題となっています。

こうした「危険な暑さ」は、観光客の外出意欲や市内周遊の動きにも影響を与えます。特に日中の観光行動が鈍くなることで、飲食店・土産店・体験施設等への立ち寄り機会が減少することも懸念されます。一方で、暑い時期だからこそ「冷たいものを食べたい」「涼を感じられる場所に立ち寄りたい」という需要も高まります。

そこで、夏の丹波篠山を楽しむ新たなきっかけとして、会員事業者の皆さまと連携し、猛暑日に食べたくなる“ひんやりグルメ”と“夏の元気グルメ”を紹介する企画を実施します。

■期間

令和8年7月15日(水)～9月13日(日)

■対象メニュー

「冷たいご褒美グルメ」スイーツ、ドリンク、冷製メニューなど
「夏の元気グルメ」猪肉、牛肉、山の芋、スパイス料理など

■参加店舗数

9店舗13商品（ひんやり9商品、元気グルメ4商品）

<https://tourism.sasayama.jp/natunoshokubattle/>

1. 冷たいご褒美グルメ

大福堂 かき氷
黒豆茶のかき氷
いちごと大納言小豆のかき氷
黒豆×丹波栗パフェ
ふわふわシンデレラかき氷(パイン&オレンジ)
かき氷「丹波黒豆」
秀月 月の氷室2本セット
フルーツティー(台湾レモン)
パウンドケーキ アイスクリームのせ

2. 夏の元気グルメ

猪肉の石焼き
お肉増量!!和牛と丹波黒豆ごはん膳
山芋揚げそば
牡丹まん

2026 年 7 月 13 日

一般社団法人 丹波篠山市観光協会

記者発表票

あなたはどっち派!?丹波篠山夏の食バトル!
冷たいご褒美 VS 夏の元気グルメについて

■ 広報

ご提供いただいた情報は、観光協会の各種広報媒体を活用して広く発信します。

・観光協会公式ホームページ ・公式 SNS (Instagram/Facebook 等) ・観光案内所での
対面案内・メディア (新聞・雑誌等) への情報提供 ・SNS 広告

<企画・運営・お問い合わせ> 一般社団法人 丹波篠山市観光協会
兵庫県丹波篠山市北新町 97 TEL: 079-506-1535

本件が 該当する 目標	3 すべての人に 健康と福祉を  4 質の高い教育を みんなに 
----------------------------	--

記 者 発 表 票 (記者発表)・資料配布)			
発表年月日	令和8年7月13日	担当地方機関	丹波篠山市
電話番号・内線	079-594-1180	担 当 課	中央公民館
広報担当者 (発 表 者)	辻川 貴志	事務担当者	奥井 ちひろ
同時発表先	無		
件名	「第3回桶ツト卓球世界大会」の開催について		

「第3回桶ッ卓球世界大会」の開催について

1 大会概要

趣 旨	・丹波篠山発祥のスポーツ「桶ッ卓球」の普及 ・桶ッ卓球を通じた交流促進 ・市及びこんだ薬師温泉ぬくもりの郷のPR ・市内桶ッ卓球愛好者（団体）の連携強化
主 催	丹波篠山市（中央公民館）、丹波篠山市体育振興会連絡協議会
期 日	令和9年2月23日（火・祝）
会 場	四季の森生涯学習センター 多目的ホール（丹波篠山市網掛429）
種 別	男子の部、女子の部、男女の部
人 数	各種別32組（予定）
備 考	詳細はホームページに掲載 ・ルールブック ・体験コーナーの開設について ・市内桶ッ卓球サークル情報 等

本件が 該当する 目標	4 質の高い教育を みんなに 
----------------------------	--

記者発表票 (記者発表・資料配布)			
発表年月日	令和8年7月13日	担当地方機関	丹波篠山市
電話番号・内線	079-552-3600 内線465	担当課	田園交響ホール
広報担当者 (発表者)	田園交響ホール 酒井直隆	事務担当者	田園交響ホール 小林純一 加藤りな
同時発表先	無		
件名	「田園交響ホール ステージ・オペレータークラブ」が、特定ラジオマイク運用調整機構主催の、第26回「特ラ機構 技術賞」において最優秀の「八幡賞」を受賞		

「丹波篠山市民ミュージカル『シンデレラ～ハシバミの木と愛の魔法～』」を運営した田園交響ホールと、ステージオペレータークラブが、(一社)特定ラジオマイク運用調整機構が主催する「特ラ機構 技術賞」において、「一般部門 金賞」を受賞。その中でも特に優れた作品贈られる特別賞「八幡賞」も受賞し、6月18日に開催された表彰式に出席しました。

表彰式では、「公演を重ねるごとにスキルアップする技術力、常に原点に返って努力する姿勢、役者へのピンマイクの付け位置ひとつにしてもきめ細やかな配慮が感じられる」と評価をしていただきました。

※一般社団法人 特定ラジオマイク運用調整機構(通称:特ラ機構)は、コンサートやテレビ放送、舞台などで使われる「特定ラジオマイク(ワイヤレスマイク)」の電波が混信しないよう、運用調整を行っている組織です。

ステージオペレータークラブ出席者

会 長: 山内伸広(音響部)

副会長: 山本智美(舞台部)

舞台部: 小島みどり、川端浩之

照明部: 岸本朋子、雪岡則子 (各部50音順)

令和8年7月13日

報道関係各社様

田園交響ホール
館長 酒井直隆

田園交響ホール ステージ・オペレータークラブが
第26回「特ラ機構 技術賞」で最優秀「八幡賞」を受賞

田園交響ホールとステージ・オペレータークラブ(SOC)は、一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構(特ラ機構)が主催する令和8年度「技術賞」において、一般部門金賞ならびに最高賞である「八幡賞」を受賞しました。

今回の受賞は、市民ミュージカルにおける大規模な業務用ワイヤレスマイク運用技術と、安全・確実な音響システムの構築が高く評価されたものです。

田園交響ホールとSOCの今回の取り組みを一人でも多くの方に知っていただきたく、本日は田園交響ホール専門員と、SOC会長以下会員も出席しております。

今回の受賞について記者の皆様にお伝えして、10月から開講する「第21期ステージオペレーター養成講座」の受講生募集にもつなげていきたいと思っていますので、ご協力をお願いします。

1 本日の予定

①記者発表

- ・第26回特ラ機構 技術賞」受賞について (ホール専門員 小林純一)
- ・質疑応答
- ・第21期ステージオペレーター養成講座について (ホール専門員 加藤りな)
※詳細は別紙募集チラシ参照
- ・今後の田園交響ホール主催事業について (館長 酒井直隆)
8月29日(土) 【生配信上映】佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ
10月4日(日) 神田伯山独演会
10月31日(土) 石丸幹二 with オーケストラ・アンサンブル金沢
※詳細は別紙公演チラシ参照

②写真撮影

「第 26 回 特定ラジオマイク調整機構 技術賞」受賞について

田園交響ホールとステージ・オペレータークラブは、一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構(特ラ機構)が主催する令和8年度「技術賞」において、一般部門金賞ならびに最高賞である「八幡賞」を受賞しました。今回の受賞は、市民ミュージカルにおける大規模な業務用ワイヤレスマイク運用技術と、安全・確実な音響システムの構築が高く評価されたものです。

特定ラジオマイクとは

特定ラジオマイク(A 型ワイヤレスマイク)とは、放送局や劇場、コンサートホールなど、プロフェッショナルな現場で使用される免許制の業務用ワイヤレスマイク(700MHz 帯・1.2GHz 帯)です。

一般的なカラオケやイベントなどで使用される免許不要のワイヤレスマイクとは異なり、高品質な音声伝送と、混信の少ない安定した運用が可能です。

特定ラジオマイク運用調整機構(特ラ機構)

特定ラジオマイク運用調整機構(通称:特ラ機構)は、業務用ワイヤレスマイクの免許人を会員とし、電波の混信防止を目的とした運用調整を行う団体です。

総務省や放送事業者、関係団体と連携し、会員から提出される運用予定をもとに、混信のおそれがある場合には関係者間の調整を行い、安全で円滑な電波利用を支えています。

特ラ機構 技術賞とは

特ラ機構技術賞は、舞台・イベント・放送・映像制作などで業務用ワイヤレスマイクを運用する技術者や、全国の公共ホール等で活躍する音響技術者を対象に、優れた運用技術や創意工夫を顕彰する表彰制度です。

業務用ワイヤレスマイクの安全かつ安定した運用技術の向上と、技術の継承・発展を目的として創設されています。

主な評価対象

- ・ ワイヤレスマイクを安全かつ効率的に運用するための工夫
- ・ 混信防止や安定運用に寄与する技術・システム
- ・ 舞台・放送・イベントなどにおける創意工夫
- ・ 新しい技術やアイデアの実践
- ・ 後進の参考となる優れた技術的取り組みや研究成果

今回評価された主なポイント

- ・ 市民ミュージカルで 24 本の業務用ワイヤレスピンマイクを安定運用
- ・ トリプルキャスト・全 6 公演・出演者 100 名を超える大規模公演で、明瞭な音声伝送を実現
- ・ デジタルミキシングコンソールや周辺機器を活用した効率的なシステム構成
- ・ 短時間でのマイク交換や、トラブルを未然に防ぐ運用体制の確立
- ・ 大規模公演における安全性・確実性・迅速性を兼ね備えた運用

技術賞の概要

技術賞には「一般部門」と「学生部門」が設けられています。

各部門には金賞・銀賞・奨励賞があり、その中でも特に優れた取り組みには最高賞である「八幡賞」が授与されます。

八幡賞は、特ラ機構の設立以来、業界の発展に大きく貢献された故・八幡泰彦元理事長の功績を顕彰し、平成 25 年に創設された賞です。

今回の受賞

一般部門 金賞(八幡賞)受賞

※今回の一般部門では銀賞の該当者はありませんでした。

過去の受賞歴

- ・ 令和 4 年「クリスマス・キャロル」一般部門 金賞受賞
- ・ 令和 6 年「ノートルダム・ド・パリ」一般部門 銀賞受賞

ステージオペレーター養成講座

受講生募集！

受講無料

感動を支える『舞台裏』は、もっとアツイ。



未経験者
歓迎



- 応募方法 裏面の申込書に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。
(郵送・持参・FAX・メール可)
または 左記のQRコードより、フォームからお申込みください。
- 受講内容 舞台・照明・音響の知識と技術を習得します。
- 受講期間 10月1日(木)～12月20日(日)【全12回】
- 募集人数 20人程度(18才以上、高校生を除く)
- その他 講座終了後は、ホールのボランティアスタッフとして活動して頂きます。

◆募集締切 9月5日(土)必着◆

■講座日程 ※受講期間：2026年10月1日(木)～12月20日(日)※

月	日	曜日	時間	内容
10	1	木	19:00～21:00	開講式：ガイダンス、舞台作業の心構え、ホール内見学等
	8	木	19:00～21:00	【舞台】 技術講座：専門用語・舞台図の見方・尺貫法
	15	木	19:00～21:00	【照明】 技術講座：専門用語・仕込図の見方
	22	木	19:00～21:00	【音響】 技術講座：専門用語・仕込図の見方
	29	木	19:00～21:00	【舞台】 技術実習：幕の吊り込みと、毛氈の敷き方
11	5	木	19:00～21:00	【照明】 技術実習：灯体の種類と吊り込み方
	12	木	9:00～17:00	《公演実習》：兵庫県学校ダンス研究発表会
	19	木	19:00～21:00	【音響】 技術実習：マイク・スピーカーの種類と配線方法
	22	日	9:00～21:00	《公演実習》：丹波篠山市民文化祭
	23	月・祝	9:00～17:00	《公演実習》：丹波篠山市民文化祭
12	10	木	19:00～21:00	入部説明、総合復習
	20	日	9:00～17:00	おさらい会、閉講式、各部顔合わせ会

申し込み・問い合わせ：丹波篠山市立 田園交響ホール

〒669-2332 丹波篠山市北新町41

TEL:079-552-3600 FAX:079-552-3646

e-Mail: denen_div@city.sasayama.hyogo.jp

担当:加藤・小島